

報道関係 各位

2017年2月22日
公益財団法人日本デザイン振興会

国内初のグッドデザイン賞の公式ショップ&ギャラリー 「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」

4月下旬、東京駅隣・KITTE 丸の内(JPタワー)にオープン、香港・タイ・台湾に続き6店舗目

公益財団法人日本デザイン振興会(会長・川上元美)は、建材販売事業・建設関連事業等の総合企業である野原産業株式会社(代表取締役社長・野原数生)との間で、グッドデザイン賞受賞商品を扱う店舗の開設と運営に関する契約を締結、同社は本年4月に、東京・丸の内のJPタワー商業施設KITTE 丸の内3階に「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」(グッドデザインストアトーキョーバイノハラ)をオープンします。

「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」は、グッドデザイン賞および受賞商品のPR拠点として、日本国内で販売・展示を行う初の公式ショップです。グッドデザイン賞受賞商品を扱う公式ショップ「GOOD DESIGN STORE」は、これまでに香港・バンコク・台中の計5箇所で、現地企業のフランチャイズにより展開されて好評を博しています。

「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」が立地するKITTE 丸の内は、東京駅に隣接し、国内外の観光客も多い商業施設です。当会が2015年より運営するグッドデザイン賞のPR拠点「GOOD DESIGN Marunouchi」とも至近距離で、相互の展示と販売を連動させることにより、グッドデザイン賞と受賞商品のいっそうのアピールを推進します。



ショップ VI
(グラフィックデザイン: 廣村正彰)



オーサグラフ世界地図
慶応義塾大学 政策・メディア研究科
鳴川研究室+オーサグラフ(株)



バタフライツール
(株)天童木工



ANDO'S GLASS
(株)アンドーギャラリー



壁紙 [Who]
(株)キヤル

「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」施設概要

施設名 GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA (グッドデザインストアトウキョウバイノハラ)

所在地 KITTE 丸の内(東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 KITTE丸の内3階)

開店予定 2017年4月下旬

店舗総面積 約180㎡

取扱商品 60年の間にグッドデザイン賞を受賞した商品の中からそれぞれの時代を代表する受賞商品

商品点数 約400アイテム *開店時予定

営業時間 11:00-21:00(日曜・祝日11:00-20:00) *休業日 1月1日及び、法定点検日

運営主体

野原産業株式会社 (<http://www.nohara-inc.co.jp>)

代表取締役社長 野原数生

本社 東京都新宿区新宿 1-1-11

設立 昭和22年9月11日

資本金 6億1,210万円



店舗デザイン JASPER MORRISON

グラフィックデザイン 廣村正彰

プロデュース・MD・VMD 山田遊(method)

運営協力 公益財団法人日本デザイン振興会

本件に関する報道関係のお問い合わせ先: 株式会社オズマピーアール(担当: 松林、月田、鈴木)

電話: 03-4531-0214 FAX: 03-3230-6690

Press Release

<参考資料>

【GOOD DESIGN STOREについて】

日本を代表するデザインの評価と推奨の運動として広く知られるグッドデザイン賞は、日本のデザインの国際的なプレゼンス向上のため、近年では特にアジア圏内でのプロモーションに務めています。その一環として、受賞商品の販売とPRを通じたグッドデザイン賞の認知および受賞企業の販路の拡大を目的に、2014年からGOOD DESIGN STORE事業を開始しました。香港、タイ、台湾における公式ショップとギャラリーの機能を持った拠点を、現地企業のフランチャイズにより展開しています。

【日本におけるPR拠点について】

グッドデザイン賞の趣旨や受賞結果、デザインの領域の広がりを伝えるため、国内初のギャラリー・イベントスペース「GOOD DESIGN Marunouchi」を、2015年10月に東京・丸の内内に開設しました。グッドデザイン賞のプロモーション拠点として、デザインと社会をつなぐ最前線として、企業や各種団体などとともに、デザインをテーマとする展示、セミナー、トークイベント、ワークショップなどを開催しています。

【グッドデザイン賞(Gマーク)について】

グッドデザイン賞は1957年に創設された日本を代表するデザイン賞で、商品をはじめ建築、各種のアプリケーションやソフトウェア、デザインを活用したプロジェクトや取組みに至るまで、私たちの社会を築き、暮らしの豊かさを導くさまざまな「よいデザイン」を見出しています。さらに、受賞したデザインを各種のプロモーションを通じて社会へ広く伝え、多くの人々がデザインに接し、その意義を実感することができる環境づくりを担っています。受賞のシンボルである「Gマーク」は80%もの認知率※を誇り、「よいデザイン」の象徴として広く親しまれています。

※日本デザイン振興会による2014年度インターネット調査結果。



【デザイン担当者 プロフィール】



JASPER MORRISON | インテリアデザイン

1959年、ロンドン生まれのプロダクトデザイナー。ロンドン王立芸術学院を卒業後、ベルリンにてデザインを学び、1986年にデザイン事務所Office for Designを設立。ロンドン・パリ・東京に拠点を置き、世界中の企業とプロジェクトを手がける。「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」では、同氏日本国内初の店舗デザインを担当。



廣村正彰 | グラフィックデザイン

1954年愛知県生まれ。東京工芸大学教授、一般社団法人ジャパンクリエイティブ代表理事。グラフィックデザインの他、商業施設や美術館などのサインデザイン、CI、VI計画を多く手がける。主な仕事：日本科学未来館、横須賀美術館、9h ナインアワーズ、すみだ水族館、あべのハルカス、そごう・西武、ロフトなど。主な受賞歴：毎日デザイン賞、KU/KAN賞、SDA大賞、グッドデザイン金賞他。著作『デザインのできること デザインのすべきこと』他。



山田遊 | ショッププロデュース、MD、VMD

東京都出身。南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method(メソッド)を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。

2013年「別冊Discover Japan 暮らしの専門店」/エイ出版社、2014年「デザインとセンスで売れるショップ成功のメソッド」/誠文堂新光社 が発売される。